



第100号 (季刊)
平成23年10月
田中野田町内会

<http://townweb.e-okayamacity.jp/tanakanoda/>

「ふれあい新聞」創刊100号おめでとうございます

田中野田町内会 会長 2組 和氣 茂

昭和62年1月に第一回が発行され、以来25年間一度のときれもなく、今日を迎えることができたのは代々の町内会長をはじめ、発行にたずさわってこられた皆さんのご努力の賜ものと深く敬意を表するものです。



この機会をいただき、創刊当時の新聞をめくってみて当時の田中野田の姿がつかえるのではないかと期待するものであります。

話は変わりますが、まもなく白鬚宮の秋祭りが近づいて参りました。我が町内に『祭り神輿、だんじり』が出来たのは昭和55年です。この2年前が中仙道町内会、1年前が田中町内会だったように思います。当時、神輿、だんじりを作ろうとの言い出しっぺは横野良典さん、早川博明さん、中原廣行さん達だったと思います。大工さんであった林義明さんの指示のもと、子どものお父さんお母さんが手伝い毎晩公会堂に集まり、数ヶ月を費やし完成させたのです。子どもたちの為に、一生懸命に頑張って手作りした皆さんの達成感溢れる大きな喜び、あの時の感動は今でも忘れることができません。

さて、神輿が出来たがだんじりに乗せる『太鼓』をどうするか・・・。公会堂の隅に皮は破れ、胴回りはどうにもならないくらいひび割れ、傷んでいた太鼓。思案の末、修理に出すことにした。なんと修理費用は40万円かか



るとのこと。(当時新品は150万円)結論として、町内会に援助を願い、半分の20万円を出してもらいほんとうに有難かった。残りは子ども育成会が負担した。約2ヶ月後、修理を終えピカピカの新品のような太鼓が帰ってきた。これが現在、夏・秋祭り、運動会などで活躍している太鼓である。

最後に、去る9月3日の12号台風で心配と不安の一日を過ごされたのではないかと思います。勢いを増す雨、水かさが増し、道路は浸水し、町内で床下浸水にみまわれたお宅も数十件ありました。心からお見舞い申し上げます。



町内の皆様も今回を教訓に「晴れの国岡山」ならぬ防災に対する意識を痛感された事と思います。これを契機に岡山県、岡山市などの行政からの情報だけに頼らず、地元での現実の事象を踏まえて町内では何をしなければならないか、何ができるかを考えて行きたいと思っております。

またまた快挙

—全国中学大会で入賞—

9組の広田勇一君が、8月21日に行われた全国中学校体育大会の走り高跳びで4位に入賞しました。(記録は1m93cmで、優勝者と同記録) 昨年岡山県中学大会で優勝し頭角を現し、大きく成長した姿を見せてきています。次の大会「ジュニアオリンピック」(横浜：日産スタジアム 10/28~30)でも『ベストがだせるようにがんばります』と力強く語ってくれました。

